



北海道森林管理局 指導普及課だより

平成21年2月
第14号
〒064-8537
札幌市中央区宮の森3-7

平成20年度北の国・森林づくり技術交流発表会 開催！



1月29日(木)～30日(金)までの2日間、北海道森林管理局大会議室において、200名近い入場者を集め「北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催されました。冒頭、山田壽夫北海道森林管理局長より、「地球温暖化にかかる森林の役割等近年森林の果たす役割は様々な面で関心が持たれており、こうした役割を多くの方に知っていただくことは、国有林としても重要なことと考えています。このため、森林環境教育の推進や情報の発信、市民参加による森林づくりに支援をさせていただいているところです。本日の発表は21課題ありますが、それぞれこれらの取組を推進していくためにも興味深いものになると考えております。」との挨拶がありました。発表には、森林管理署等をはじめ、自治体、NPO、高校、試験研究機関からの参加があり、参加した団体間での情報交換、意見交換の場を提供することもできました。また、1階玄関ホールでは、北海道山岳ガイド協会、札幌藻岩高校、知床森林センター、石狩森林環境保全ふれあいセンター、北海道森林管理局保全調整課による活動状況等のパネル展示を同時に開催し、用意した資料は、品切れになるほどの盛況ぶりでした。



特別講演～森林資源の現状と今後の展望 ー木質バイオマスエネルギーの利用ー

技術交流発表会の締めくくりとして、(株)NERC(自然エネルギー研究センター)の大友取締役センター長より「森林資源の現状と今後の展望」と題して特別講演が行われました。(株)NERCは、地域産業の再構築(地域に仕事を創り出す)と人材育成を理念に自然エネルギーの総合コンサルタント、北海道大学のベンチャー企業として経営され、1. 木質繊維断熱材、2. ペレット生産、3. 林地残材の利用、等の事業を展開してきました。これらは、「高付加価値・地域循環型・環境保全型農業」へつながる「地産地消」のビジョンに基づき行われており、地域社会・地域住民に恩恵を与え、消費者の安心・安全の保障というメリットを追及するものです。特に林地残材については、その8割以上が未利用であり、コスト安定化の調査研究、新たな外燃料機関の開発が進められているとのことでした。道内では、足寄町が木質バイオマス利用により新たな雇用創造をもたらすなど、明るい話題を提供していただきました。



大友詔雄氏プロフィール

1945年江別市生まれ。北海道大学工学部電子工学科卒業後、同大学院を経て、工学博士。『原子力技術論』『生体時系列データ解析の新展開』などの著書があります。(株)NERC(自然エネルギー研究センター)代表取締役センター長・(株)木の繊維社代表取締役社長・北海道木質ペレット推進協議会代表・NPO北海道新エネルギー普及促進協会理事長を務められています。

ポスター展示

- ・北海道山岳ガイド協会～登山の日の活動報告～
- ・札幌藻岩高等学校～ビオトープの紹介～
- ・石狩地域森林環境保全ふれあいセンター
- ・知床森林センター
- ・保全調整課～北の森林・国有林表紙写真展と根釧西部署作成カレンダー



平成20年度発表プログラム

○森林技術部門

1. エゾマツの播種による更新試験 (森林技術センター)
2. 新たなカラーカラ複層林試験地を活用した森林施業の地域への発信について (根釧西部署)
3. 天然生ナラ林における間伐の効果 (胆振森づくりセンター：奨励賞)
4. 天然下種更新によるカラマツ複層林の造成について (十勝東部署：森林技術部門局長賞)
5. 支笏・無意根及び知床半島緑の回廊における猛禽類概況と生息を予想するポイント (㈱森林環境リアライズ：北海道森林管理局指導普及課)
6. 治山施設の落差解消による魚類の遡上調査 (上川北部署：日本森林技術協会理事長賞)
7. 「緑の回廊」整備特別対策事業に伴う地表処理後の稚樹の発生について (東大雪支署：特別賞)
8. 月形スギ保護林の保護対策について (空知署：特別賞)
9. 自動撮影装置による野生動物生息調査について (釧路湿原ふれあいセンター)

○森林ふれあい部門

10. 知床における環境教育の推進について～10年のあゆみから、効果的なプログラムを考える～ (知床森林センター：森林ふれあい部門局長賞)
11. 私たち北海道山岳ガイド協会による「登山の日ボランティア」活動について～ (北海道山岳ガイド協会・上川中部署：奨励賞)
12. 森の恵みを学ぶ活動 (島牧で楽しむ会：島牧村産業課長)
13. 保護林の保全・管理の取組について (檜山署)
14. 学校林を活用した環境教育の現状と取組事例 (釧路湿原ふれあいセンター)
15. 海と山の森づくり、エコサイクルの復元 (寿都町Club風のがっこう・技術士事務所森林航測研究・寿都町産業振興課：奨励賞)
16. 国有林における森林環境教育のあり方について (駒ヶ岳・大沼ふれあいセンター)
17. 上サロベツ地区自然再生調査業務の取組について (En Vision環境保全事務所・北海道森林管理局指導普及課)
18. 野幌国有林における外来種駆除の取組について (石狩ふれあいセンター：日本森林林業振興会会長賞)

○高校部門

19. 藻岩高校「チョウの飛ぶ校庭」ビオトープの昆虫相と食物網・・・ (札幌藻岩高等学校：高校部門局長賞)
20. トドマツ人工林の天然更新 (岩見沢農業高等学校：奨励賞)
21. 校内の木質バイオマス活用の研究 (帯広農業高等学校：奨励賞)
1. 素掘り側溝代替機能設計の取組み (日高南部署)
2. 精英樹の初期成長の特性について～次代検定林調査結果から～ (林木育種センター北海道育種場)
3. 低コスト作業システムに向けて～ハーベスタ・フォワーダシステムの事例～ (北海道立林業試験場)
4. 森林バイオマスの用途開発～熱処理による機能化技術と環境浄化資材、農業用資材としての利用～ (北海道林産試験場)

局長賞の紹介

○天然下種更新によるカラマツ複層林の造成について(十勝東部署・森林技術部門)

北海道のカラマツは、年齢配置が高齢級に偏り、一過性資源に終わるとの懸念が持たれています。このようなカラマツ人工林の資源保続を図るため省力化と経費を抑えた「天然更新」による複層林造成の可能性を報告しました。

○知床における森林環境教育の推進について(知床森林センター・森林ふれあい部門)

森林に対する国民の期待や要請が多様化する中、世界自然遺産を背景とした知床での過去10年の環境教育活動の実施とアンケートの結果から、今後の課題や目標を明確にし、現在求められている環境教育プログラムを検討し報告しました。

○藻岩高校「チョウの飛ぶ校庭」ビオトープの昆虫相と食物網(札幌藻岩高等学校・森林ふれあい部門)

藻岩高校校庭のビオトープは2008年に拡大し、植物も多く見られるようになりました。ビオトープのすべての昆虫とクモを記録し、「食う、食われる」の関係に注目し、食物網をまとめ報告しました。



十勝東部森林管理署



札幌藻岩高等学校



知床センター